



広島・長崎への原爆投下から81年 次世代へどの様に平和の想いを 伝えていくか考えよう



8月6日の広島、そして8月9日の長崎への原爆投下から81年を迎えます。戦争の悲惨さと核兵器の恐ろしさを風化させることなく、私たちは改めて「平和」の尊さについて考えなければなりません。JR東労組は、働く者の権利や安全を守るだけでなく、平和な社会の実現に向けて行動しています。そして、この平和への願いを「次世代に伝える」ことが私たちの責任です。さらに、仲間の声を結集し、より大きな組織力へと発展させるためには「組織強化・拡大」が欠かせません。

一人ひとりが平和への決意を胸に、新たな仲間づくりに取り組み、平和な未来へ希望をつなげていきましょう！

次の世代に平和をつなぐため、今何が出来るか考えよう！